

**花巻市東和地域協議会
平成25年度第1回会議記録**

日 時	平成25年6月21日（金） 13:30～15:20							
場 所	花巻市東和総合支所 1階 第1会議室							
委 員	役 職	氏 名	出席	欠席	役 職	氏 名	出席	欠席
	会 長	小原 宏	○		委 員	下坂 淳代		○
	副会長	吉田 英雄		○	委 員	猿舘 祐子	○	
	委 員	菊池 隆耕		○	委 員	小田島 忍	○	
	委 員	下林 育男	○		委 員	日下明久美		○
	委 員	平野 保	○		委 員	晴山 准子	○	
	委 員	赤坂 學	○		委 員	川村 哲夫	○	
	委 員	小川 洋征	○		委 員	藤井 公博	○	
出席職員	政策推進部 企画調整課 総合計画策定室 室長 佐々木俊幸、次長 菅野圭、主査 寺林和弘 東和総合支所 支所長 赤坂謙 地域振興課 課長 多田潤、地域づくり係長 佐藤健、上席主任 三熊俊正 地域支援室 地域支援監 青木力三							
傍 聴 者	1名（うち報道機関0名）							

司会：地域振興課長

1 開 会（司会）

※ 出席者過半数により会議が成立することを報告

2 会長あいさつ（小原宏会長）

皆様には大変お忙しいところお集まりいただき、本当にありがとうございました。花巻市のほうでは花巻市まちづくり総合計画の素案ができたということでございまして、本日、政策推進部の佐々木総合計画策定室長さんをはじめ、総合計画策定室からおいでになっていただきまして、説明を受けることになっておりますので、宜しくお願いを申し上げます。それから協議のほうでございしますが、この前、アンケートでお願いしました、平成25年度の自主活動につきまして、後半の部で協議をしたいと思っておりますので宜しくお願いを申し上げます。だいたい、花巻市まちづくり総合計画の素案につきましては、説明それから質疑応答につきまして1時間程度と見込んでおりますので宜しくお願いを申し上げます。後半についても1時間程度、合計2時間の時間をみて今日の会議といたしたいと思っておりますので、宜しくお願いを申し上げます。

※ 司会から、総合計画策定室の出席職員及び事務局職員を紹介

※ 以後、会長が議長となる。

3 議 題

(1) 花巻市まちづくり総合計画（素案）について

小原宏会長 それでは、議題に入りたいと思います。（1）の花巻市まちづくり総合計画（素案）についての説明をお願いします。

総合計画策定室長 ※ 花巻市まちづくり総合計画（素案）について、資料により説明

総合計画策定室次長 1箇所、訂正をお願いします。長期ビジョンの38ページ、土沢地区のコミュニティ会議名を土沢地域づくり会議に訂正させていただきます。

小原宏会長 私のほうから一つ教えてほしいことがあるのですが、花巻市まちづくり総合計画策定スケジュールの中で、地域協議会に対しては、6月中旬に説明を行い、それから7月の下旬に諮問、答申となっておりますが、その途中で意見聴取は無いものと理解すればよろしいのでしょうか。

総合計画策定室長 今回は未だ素案でございますので、各地域から、いろいろご意見を頂いたり、パブリックコメントで頂いたものを反映し、それから案に作り上げますので、それでもって諮問させていただくことになっております。そこでまた、ご意見を頂戴して答申にして頂きたいということでございます。それから、今日頂きますご意見のほか、後からでも、皆さんからご意見がございましたら、まとめて事務局のほうに頂ければと思います。

小原宏会長 それからもう一つですが、途中、私どもで勉強会をしたいということになれば、総合支所に来ていただいて、説明を頂く機会を与えてもらえることはできますか。

総合計画策定室長 はい。

小原宏会長 ありがとうございます。皆様から、今、説明されたことについて、質問、ご意見があるかと思っておりますので、ご発言をお願いします。本日は、花巻市総合計画市民会議委員のメンバーを務めた藤井公博さんが出席しております。藤井さん、自分達が出した提言書の本素案への反映状況はいかがですか。

藤井公博委員 確かに手を挙げさせていただいて参加しました。大変申し訳ございませんが、途中で名前を抹消していただきたい旨、事務局のほうにお願いをしましたが、資料だけはお送りしますので、ご意見だけは賜りたいということで、最後まで名前を削ることができませんでした。たまたま、私は今、県の身障協の役員をやっております、そちらのほうで震災復興ということで、DJFというものを立ち上げて、そちらの責任者をしておりまして、盛岡のふれあいランドでの会議が続き、総合計画市民会議のほうに影響があるということで、ご遠慮させていただきましたが、最後まで名前だけは削られないままになって、大変恐縮でございます。ただ、この会議の冒頭で、何回か富士大学の先生方と議論をさせていただきましたけれども、私自身も市のあり様について、総合的に物事を考えること初めてやりました。

だいぶ以前になりますが、議会に1期だけ参加させてもらいましたし、その後、障がい者福祉にかなり係わってきましたので、本日出席している浮田地区の平野保さんのもとで、自主防災の

部分をやってみました、やはり、正にここで言っている、結と絆をいかにしてまた、地域で取り戻せるのかということに尽きるのかなという感じがしていました。

細かい話になりますが、浮田地区コミュニティ会議、人口1千人未満であっても、ここに消防部が3つまだあります。それから、ちょっと大きな話になりますが、東和では小学校が1校に統合したなど、それらを色々考えていきますと、冒頭で公債費比率とか色々出していますけども、これだけインフラのために投資をして、投資した金額をどう回収していくのか、やっぱり人口減少もありますし、教育の効率性もありますけども、どうしても、行政の縮小、統合といいますか、効率化のためのことはどんどんやっていかなければならないのではと思います。ですから、中期プランについても最初の3年間、スタートダッシュでどこまで行政効率を上げるか、それも、せっかく作ったインフラ整備、道路、通信網を、どのようにしてまちづくりに生かしていくか、これは全国的な課題であります、花巻は花巻なりに思い切ったことができるのではないかと考えます。以上です。

小原宏会長 ありがとうございます。そのほか、お聞きしたいという方はいらっしゃいますか。平野さんいかがですか。

平野保委員 意見になるかと思いますが、花巻の特徴は歴史と文化のまちとか、自然豊かなところというふうな、認識でこの計画が作られていると思いますし、そういう表現がありました。そのことは誰も異論ないだろうと思っております。計画の5つの分野について、どういう風な姿にもっていくということが基本にあるわけですが、例えば15ページの、まちづくりの分野とその目指す姿ですが、希望としては、その花巻の特徴である歴史と文化のまちだとか、自然豊かなところということ、どう生かして目指す姿にしていくのかということが、あればいいと思います。そうすると、市民の納得も増すかなと思いました。

それからこの計画の中で、自然豊かなところということですが、それが今のところの特徴だけでも、いつまでもこの豊かな自然を維持していけるか、守っていけるか、何もしなくても大丈夫であるかということ、危ないかと最近思っております。例えば、山を見れば松が枯れて赤くなっているとか、植物の蔓(つる)がはびこって木がきちんと生育していないとか、あるいは田畑の周りまで藪になってきているとか、その反動で人間でない生物がのさばってきているということで、豊かな自然も危ないな、豊かな自然だから都会から来てみてくださいと、何時まで言っているかという心配もあるわけです。守っていくということと、生かすということ、いろんな分野の方向性に結び付けてほしいです。

豊かな自然は暮らしの分野で、自然保護ということで考えていくのが基本ですが、それだけでいいのかなと思います。例えば身近な山は、ずっと人の手が入って守られてきています。木を切り倒した後に植林したり、椎茸などで使われた雑木林は自然更新して維持されてきているわけです。田畑の周りを綺麗にすることも人の手が入っています。なので、仕事と結び付けるということも大事ではないかと思います。自然保護の性格だけでいくと、非常にお金のかかる話ですが、仕事という分では収支は合わないけれども、足りない分は行政が施策で出すというふうなことで、安上がりに現実的にできるのではないかと思います。あまり自然保護という部分を強調すると、特にも田舎に住んでいる人間としては、綺麗ごとのような感じがするので、仕事と結び付ける自然ということを考えていってほしいです。

市政懇談会のときに、木材エネルギーいわゆる代替エネルギーとして、木材を使うことを考えていくことも必要ではないかと話をした経過がありますけども、このようなことも取り入れて自然を作り守っていくという観点が必要ではないかと思っています。

小原宏会長 どなたか質問、意見はありませんか。

下林育男委員 はい、前々から感じていましたけども、イーハトーブ花巻と出てきますよね。大石市長が2期目になったときに、合衆市構想を発信したのですが、なぜ合衆市と表現したのかと疑問に思っておりました。賢治が言うイーハトーブは理想郷のことです。賢治まちづくり課が設けられましたが、あまりにも賢治に頼っていいのか、あの人みたいになりたいと思いますが、どうして無理ではないかと思います。賢治は何でもできるマルチなすごい方なので、そういう人づくりから入って、何かやってもいいのではないかと思います。まちづくりの基本を内容とした勉強会の開催をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

小原宏会長 そのほかございませんか。小田島さんいかがですか。

小田島忍委員 長期ビジョンの仕事のところを見ていて、自分なりにこうなってほしいなと感じたことを話していきたいと思います。まず、19ページの「しごと」分野のところがございますけど、最初に農林業の振興となっています。（1）のところに農業生産の支援ということで、農産物の生産という言葉が入っていますが、生産もある程度限度がきているような感じがします。この中に農産物の付加価値を付けていく方法を何か考えていってこないかなという感じがします。例えば米粉でパンを作ったり、いろんなことを東和町ではやっていますが、そんなことをやっていったらどうかと感じました。

それから、工業の振興でございますけども、やっぱり今まで花巻市をはじめ岩手県では、誘致企業というのが、だいぶ地域の経済を潤したのと、あるいは給与ベースを高くした、あるいは技術ベース基盤を高くしたというように、誘致企業がだいぶ活躍というか、大きな役割を果たしてきているような感じを受けます。今後もこの企業の招致、誘致を進めていっていただきたいと思います。そのような格好になると、Uターンなりして人口も増えるし、仕事いっぱい、雇用いっぱいというような格好になっていくのではないかと思います。

それから、商業の振興のところですが、ほとんどの市内の商店街がすたれて、商店街の役割というものがほとんど無いような格好になっていますが、でも、このまま商店街をそのままにしていっていいのかということは何時でも考えています。そのような手段の一つの例としまして、今、いろんな公共的な建物がバイパスとかいろんなところに出店しています。確かにほかのところに出ていくことによって、駐車場も確保できるし、また、土地も安いということがあると思いますが、インフラ整備ができて、下水もできている、道路もできている、そのようなところをただ見捨てていいのか、そこをなんとか利用してほしいということを感じています。

それから、観光の振興ですけども、観光客が目的地にスムーズに移動できるようにということですが、岩手県全体でみると、確かに盛岡から岩泉に行くとなると大変な時間がかかる状態ですが、花巻市全体でみれば、移動についてはスムーズに対処できている感じがします。それから、

（4）のところに「おもてなしの向上」となっておりますけど、このおもてなしは、当然、画一的ではない、おもてなしという意味だと思っております。

それから、21ページですが、先ほど農業の付加価値などについて言いましたが、農工商観連携の推進とありますけども、これが、本当に一番大きいことで、仕事の分野あるいは観光客の分野も、この部分を強く打ち出していくことによって、可能ではないかと感じました。

総合計画策定室長 おっしゃるとおり、今までこういった施策をあげていなかったです。小田島さんがおっしゃるように、食品産業の商品開発ですとか、そういった、農業、商業、工業、それか

ら、物産から流通まで連携した中で、施策のレベルを上げていきたいということですので、市全体としても力を入れていくということになっておりますので、宜しくお願ひしたいと思ひます。

小原宏会長 はい、猿舘さんどうぞ。

猿舘祐子委員 第2章の「市の現状と将来の見通し」の「4 東日本大震災の影響」という見出しの「影響」という言葉ですが、「影響」と言えば、こういうことがあったという意味です。素案では、その影響があったおかげで、このような危機管理をしますという内容になっておりますので、「影響」というよりも「教訓」のほうが内容的には合うのかなと感じました。「影響」ではなくて、その震災を受けて学んだこととか、こういうふうに変ったという言葉のほうが、納得するのではないかと思います。

あと、「しごと」分野の、政策1-3の商業の振興の中の、政策推進のための施策と目指す姿の(2)に商店街の再生とあって、「歴史と景観が調和した魅力ある商店街となっております」となっておりますが、歴史と景観だけでは商店街は再生しないと思ひます。ですから、ここは、商店街の景観づくりとかに言葉を変えないと、あたかも商店街が綺麗になれば、魅力のある商店街に変わりますという意味あいと勘違いされてしまうと思ひるので、ここはちょっと言葉が適切ではないと思ひます。以上です。

小原宏会長 そのほかご意見はありますか。それでは、本日、説明を受けたということで、7月に諮問、答申ということになるようですが、その間に勉強会が必要でしたらば、事務局にお話をいただきたいと思ひます。その際の日程については、事務局なり、会長、副会長にお任せいただきたいと思ひます。それでは、花巻市まちづくり総合計画(素案)の説明につきましては、終了とさせていただきます。ありがとうございました。それでは、ここで10分間休憩いたします。

※ 休憩(10分間)

(2) 平成25年度花巻市東和地域協議会自主活動計画について

小原宏会長 それでは、協議を再開します。続きまして、平成25年度の自主活動計画についてです。地域振興課長のほうからコメントございますか。

地域振興課長 川村委員から提案頂いた、東和賢治の会の新設の関係は、前回も話題になり、その際に皆様から色々なご意見がありました。これについては、どのように進めるか戸惑っているところです。また、小川委員から提案がありました講師派遣につきましては、協議会に予算がないことから、厳しいかなという感じがしております。それから、下林委員から提案がありました旧小学校跡地の活用進捗状況につきましては、報告書を作ってお示しすることはできます。

小原宏会長 それでは、提案をされた方々からご意見を賜りたいと思ひます。

地域振興課長 ちなみに、昨年度は実質的な自主活動は9月、11月、2月に3回実施しております。今年度も3回でも4回でも構いませんが、テーマを決めて、資料を集め、関係課と交渉しながら進めていければいいと思ひます。

猿舘祐子委員 昨年度、印象的だったのは、ドクターヘリについて話を聞いたことです。お金をかけずに職員を派遣していただける、警察等の公共機関から、今の花巻市全体や東和地域の交通・安全等の状況、専門的な話を聞くということでもいいと思います。

小原宏会長 いい提案だと思います。やはり、いろんなことを知ることが、協議会の委員として必要なことだと思います。それでは、提案された方から、補足説明がありましたらお話ししたいと思います。

藤井公博委員 各マスコミ等の調査で、今回の大震災で健常者の死亡率よりも障がい者の死亡率が2倍になっているという結果が出ました。その内容を見ますと、地域の中で、人の手助けが必要とされる方がどれだけいるか、町内会等で十分に把握されていなかったことが、原因ではないかということになっています。要援護者の把握については、政府が地方自治体に名簿の作成を義務付けはじめていますが、私は、行政に任せるのではなく、正に地域の結の話だろうと常に思っています。名簿を作成して、日頃から訓練をして、名簿の更新も定期的に行うことが、自主防災の大きな任務になってくると思います。また、社会福祉協議会では、安心カルテという名簿がありますので、それらも併せて活用していけばいいのではないかと思います。それから、勉強会で市の取り組み状況、先進事例等を勉強していったらどうかということです。

小原宏会長 皆様から勉強会について意見がありましたので、勉強会を開催する方向で進めていきたいと思います。川村委員さん、東和賢治の会の新設について説明願います。

川村哲夫委員 大迫、石鳥谷にはすでに賢治の会がありますし、今年は賢治没後80年記念事業が開催される予定です。また、賢治まちづくり課では賢治セミナーを開催するなど、賢治によるまちづくりを進めていますので、是非、東和でも賢治の会を設立したいと思います。

小原宏会長 賢治の会の設立にについて、東和地域の中で、声をかけて集まる方はいらっしゃいますか。

川村哲夫委員 3年程前、講師を呼んで講演した時には、30名ばかり参加がありましたので、この参加者を軸に声をかけるのも方法ではないかと思います。

小原宏会長 そういう方達が集まって設立に向けて動き出すとか、賢治まちづくり課から支援を受けて盛り上げていくことはできますか。

川村哲夫委員 そうですね。3年程前の講演は、市役所のほうで主催したもので、私も参加者の一人でした。

小原宏会長 その参加者の方達が集まって、何かアクションを起こせば、会が設立できるような感じがしますがいかがですか。

東和総合支所長 花巻市が主催した講演会ということですが、その時の担当は、東和ふるさと歴史資料館ではなかったですか。

川村哲夫委員 そうでした。

小田島忍委員 この件につきましては、前回に協議して、賢治を理解している方や興味がある方が中心になって、この会を作っていくのが、長続きするし、より効果があるのではないかという、結論が出たと記憶しています。

小原宏会長 そのようなことでしたが、東和賢治の会が未だ設立されていないということで、どうかしたいとのことだと思います。地域協議会は協議する場で、賢治の会を作ることはできませんので、歯がゆい話ではございますが、そのようにして、東和地域の賢治を理解される方などが中心になって、設立に向けて動いていただければと思います。会が設立されれば私達も側面から応援することになると思います。小川さん補足説明ございますか。

小川洋征委員 限られた日数と時間ですので、研修会を開催するのが適当だと思います。平成の大合併後、全国的に市町村が減りまして、財政、住民サービスも減って、行政と住民が行う分野があいまいになってきたような感じがしますが、住民には「自分たちでできることは自分たちです。」という意識の普及が大事ではないかと思います。そこで、大学で専門に研究している先生から、これから、私達住民は何をどのようにしていかなければならないかを説明していただくといいのではないかと考え、提案しました。しかしながら、予算が無ければ、無料で来ていただける大学の先生はいないと思いますので、この提案は無理かと思えます。

小原宏会長 赤坂さんお願いします。

赤坂學委員 市議会については、有線放送で聞いておりますが、東和地区の色々な課題について、東和地区選出の市議会議員と意見交換したいということです。それから、他地区の地域協議会委員と意見交換したいと思います。例えば同じ過疎債で該当している、大迫地区の委員との意見交換がいいのではないかと思ひまして提案しました。

小原宏会長 平野さんほかにありませんか。

平野保委員 地域協議会のメンバーは、それぞれの分野や組織から選ばれている方が多いわけで、その分野や組織の状況、抱えている課題等を紹介していただくこともいいかと思っております。

赤坂學委員 今、平野委員がとてもいいことを言われたと思っております。私は体育協会から選出されていますけども、日頃、思っていることは、やはり合併してから、東和町体育協会の位置づけが、はっきりしていないということです。最近では、他地区からいらした方が、東和のスポーツ施設について、どのような施設が何処にあるのか分るように、案内看板を整備することを考えています。また、花巻市でニュースポーツを推進している関係から、現在、東和ではシャッフルボードという競技の普及に取り組んでいる状況です。

小原宏会長 非常に素晴らしい意見が出てまいりました。今日、自主活動の内容を決めるのは、大変でございますので、時期と内容につきましては、会長、副会長で協議しますのでお任せ願いますでしょうか。（委員から「はい」の声が上がる。）それでは、事務局と相談しながら進めていきたいと思ひます。任期の間、少しでも東和地域のことについて勉強してまいりたいと思ひます。

それでは、(2)の自主活動については、これで終わらせていただきます。

4 その他

地域振興課長 その他ということで項目を設けておりましたが、皆様から何かあれば、ご発言いただきたいと思えます。よろしいでしょうか。それでは私のほうから連絡ですが、本日の会議に出席された委員の皆様には、後日、報酬をお支払いします。なお、支払金額は所得税控除後の金額となりますので、ご了承願います。

5 閉 会 (司会)